

投 稿 規 定

1. 日本保険医学会誌は保険医学に関する学術論文を広く掲載し、もって保険医学の進歩発展に寄与することを目的とする。
2. 原稿の投稿は会員の資格を問わず広く受け付ける。
3. 原稿の項目区分は以下の6つとする。
 - (1) 原著：独創的な研究論文および科学的な観察
 - (2) 総説：研究・調査論文の総括および解説
 - (3) 事例報告：診査、引受、支払、裁判例など
 - (4) 論考（主張）：保険医学・実務についての提案・提言
 - (5) 報告：学会参加報告、各分野・各地域に関する情報など
 - (6) その他：資料、抄録、著書や論文の紹介、紀行文など
4. 原稿の項目区分により体裁を統一する。
 - (1) 原著
表題、要旨、キーワード、本文（はじめに、方法、結果、考察）、引用文献
 - (2) 総説
表題、要旨、キーワード、本文（はじめに、主文＝適宜段落分け、終わりに＝結論・今後の展望など）、引用文献
 - (3) 事例報告
表題、要旨、キーワード、本文（事例提示、はじめに、考察）、引用文献
 - (4) 論考（主張）
表題、要旨、キーワード、本文（はじめに、本文＝適宜段落分け、まとめ）、引用文献
 - (5) 報告
表題、本文（適宜段落分け）、あれば参考文献
 - (6) その他
表題、本文、あれば参考文献
5. 原稿の採否ならびに項目区分の決定等は査読委員の意見を基に会誌委員会にて検討し、会誌幹事より著者に連絡する。
6. 投稿料は無料とする。
7. 投稿は電子記録媒体を用い、電子メールも可とする。なお「著作権譲渡同意書並びに誓約書」と「自己申告によるCOI報告書」（本会の自己申告基準に該当しない場合は不要）を添付すること。
8. 文字数
原稿の項目区分によらず、要旨、本文（引用文献は除く）、図（写真）・表を含めて16000字（英語は8000語）以内とする。なお、図（写真）・表は1枚につき400字相当と換算し、図（写真）・表をあわせて合計16枚（6400字相当）を限度とする。
要旨・本文（引用文献は除く）の文字数（スペースを含めない）および図・表・写真数を原稿表紙に記すこと。
9. 原稿の執筆要領
全体として、「本文ファイル（表紙含む、図（写真）・表を含まない）」と「図（写真）・表ファイル」と

に分けて作成すること。なお図、表、写真はそれぞれ別ファイルとするのは可とする。

本文ファイルはMicrosoft社のWordで作成すること。A4縦用紙に横書きで、12ポイントの標準的なフォント（MS明朝など）を用い40文字×25行（和文の場合約1000字/ページ、英文の場合約500語/ページ）でページ設定する。なお、ひな形の準備があるので、活用されたい。

(1) 表紙

① 表題（英文併記）

② 執筆者名（フリガナ、英文併記）

③ 所属名（英文併記）

原則として研究時の所属名を掲載する。現在の所属名が研究時と異なる場合は*をつけて下欄の英文執筆者名の横に付記する。

④ キーワード（3～5語、英文併記）

⑤ 掲載希望項目区分（原著、総説、事例報告、論考、報告、その他、のいずれか）

⑥ 要旨・本文（引用文献は除く）各々の文字数、図（写真）・表数

⑦ 別刷希望部数

30部までを無料とし、30部を超える分については実費を徴収する。

(2) 要旨

段落分けなしで400字（英語は200語）以内とする。要旨の英文を[ABSTRACT]として併載する。なお、英文要旨の作成およびネイティブチェックの依頼を学会事務局が代行することも可能。

(3) 本文

① 医学用語は「日本医学会医学用語辞典」に、保険医学用語は「保険医学用語集」にそれぞれ準拠する。

参考：日本医学会医学用語辞典 Web版 (<https://jams.med.or.jp/dic/mdic.html>)

② 統計処理を行った場合は、統計学的検定法と有意水準を明記する。

③ 医薬品名は原則として一般名で書き、必要に応じて商品名に®を付して()内に書く。

④ しばしば繰り返される語は略語を用いてよいが、原則として要旨・本文とも初出の時は完全な用語を用い、以下に略語を使用することを明記する。

（例）慢性閉塞性肺疾患（Chronic obstructive pulmonary disease：以下、COPD）

⑤ 用字・用語は会誌委員会で統一し、筆者の了解なく変更することがある。

(4) 文献

引用文献の記載順序は本文中での引用順とし、本文中の引用箇所には、半角上付で「¹⁾」、「^{2)~4)}」、「^{5),7)}」のように記載する。文献の記載要領は以下のとおりとし、本文の終わりに引用順に一括して列挙する。

原稿の項目区分「報告」「その他」で参考文献がある場合、文献の記載要領は引用文献と同様に以下のとおりとし、本文の終わりに筆頭著者の姓のABC順に一括して列挙する。

① 論文中的図表・写真等について、他誌・他書籍からの転載を行う場合は、著者の責任において、あらかじめ著作権者（出版社・学会等）の許諾を得ること。必要に応じて、許諾が確認できる書面やメール等の提出を求める場合がある。

引用に関して許諾が必要な場合も同様とする。

② 日本語誌名は、省略・略記せず正式誌名で表記する。欧文誌名はIndex Medicusに準じて略記する。

- ③ 欧文の文献タイトルはセンテンスケース（最初の単語と固有名詞の語頭のみ大文字）で記載する。

④ 雑誌の場合

著者名（3名までを記し，4名以降は他またはetalにて省略する）．表題．冊子名．発行年；巻：頁－頁．

「in press」は引用不可とする。ただし，巻や頁が確定していない段階で雑誌刊行以前にオンラインで発表されている文献は，DOI（Digital Object Identifier）併記の上で「Online ahead of print」として引用を認める。

例1：田村光司，笠貫宏，細田瑳一，他．循環器疾患の予後．日本保険医学会誌．2000；98：135-155.

例2：Burt VL, Whelton P, Roccella EJ, et al. Prevalence of hypertension in the US adult population. Hypertension. 1995; 25: 305-313.

例3：Wu D, Zhao Z, Chen C, et al. Impact of obstructive sleep apnea on cancer risk: a systematic review and meta-analysis. Sleep Breath. 2022. DOI: 10.1007/s11325-022-02695-y. [Online ahead of print].

⑤ 単行本の場合

著者名（3名までを記し，4名以降は他またはetalにて省略する）．表題．編集者名（3名までを記し4名以降は他またはetalにて省略の上，最後の人名に“編”をつける）．書名（巻）．発行地：発行所．発行年；頁－頁．

例1：岩佐寧，石崎淳朗，井上宏史，他．100年史編集の方針．小林三世治，五島良太郎，大峰雅樹，他編．雑誌編集の基本原則（3巻）．東京：日本保険医学会．2002；123-456.

例2：Bergstrom J, Alvestrand A, Bucht J, et al. Hypertension and its control in progressive renal failure. Edited by Davidson AM. Nephrology (vol 2). London: Baillere Tindall. 1987; 1192-1195.

- ⑥ インターネットのサイトは，他に適切な資料が得られない場合のみ文献として使用しても良い。この場合は，サイト運営者または機関名，ページ名，URLを簡単かつ明確に記載するとともにアクセスした年月日も付記すること。またページ名とURLの間で改行する。

例1：厚生労働省．一般職業紹介状況（職業安定業務統計）．

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/114-1.html>（2018年9月22日アクセス可能）

例2：World Health Organization. Classifications, List of ICD-O-3 Updates.

<http://www.who.int/classifications/icd/updates/icd03updates/en/>（2018年9月22日アクセス可能）

(5) 図・表・写真

- ① 図と写真は区別しておらず，まとめて図として一連の番号を付ける。
- ② 視認性の良い白黒印刷を基本とする。カラー印刷を希望する場合は，該当する図・表の番号を明記して論文投稿時に申し出ること。ただし，会誌委員会から白黒への変更を指示された場合は，それに従うこととする。
- ③ 本文のWordファイルに書き込まずに，ExcelやWord，PowerPoint，JPEGなどの形式を用いて別ファイルとして提出する。なお図，表はそれぞれ別ファイルとするのは可とする。
- ④ 各図・表は1枚ごとに番号，タイトル，説明文を付す。

日本保険医学会では第三者による掲載記事・論文等の無断転載等が行われないように、著者より印刷物・電子情報・電子記録媒体物の著作権の譲渡を受けて管理する。掲載記事・論文等の著者全員は以下の事項を確認の上、了承いただきたい。「著作権譲渡同意書並びに誓約書」は本会ウェブサイトからダウンロードして使用すること。

- (1) 著者自身が、自分の記事・論文等の全文または一部を複製、翻訳・翻案などの形で利用する場合
(電子情報・電子記録媒体のものを含む)、本会ではこれに対して原則的に異議申し立てをしない。ただし、著者自身でも、全文を複製の形で他の著作物に利用する場合に限り、事前に本会へ文書で届け出て了解を得る必要がある。
- (2) 第三者から記事・論文等(電子情報・電子記録媒体のものを含む)の複製あるいは転載に関する許諾の要請があり、本会において必要と認めた場合は、著者に代わって許諾することがある。

11. 利益相反 (COI)

本会ウェブサイトの「自己申告による COI 報告書」を確認し、著者全員について、投稿時から遡って3年間における自己申告基準の該当有無を確認し、論文末尾にCOIの状況を開示する。

本会の基準に該当しない場合は自己申告不要だが、「本稿に関し、開示すべき利益相反 (COI) 関係はない」等と明記すること。

12. 送付・照会先

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1

生命保険協会内

日本保険医学会 会誌委員会

「日本保険医学会事務局」

電話 03-3286-2673

FAX 03-3286-2674

E-mail aimj1901@car.ocn.ne.jp